…紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報

明治廿七年三月廿三日 金曜日
舊暦甲午二月十七日（甲子）
日出 午前五時四十二分 日入 午後五時五十四分 月出 午前五時四十六分 月入 午後六時二十二分 … 二十九分 … 四十七分
（西暦一千八百九十四年） 年始より八十二日 年末まで二百八十三日

時事新報社電話番號 百四十九番

時事新報には毎號詳細なる商況物價の報…

…月

…に達し其技に熟し…此美術の進歩如…る所なり由て時…紹介し且つ其奬…

…名家

…所に從て毎月其…なる彩色石版刷…平生の愛讀者に…來年三月に至り…手に成りたる…て大に讀者の心…するの具たる

…附錄

…錄として時事新…四月五日を以て

…忠氏

…れば身は忽ち百…あるべし

…錢（東京市外…臨時に紙數を…に申込まるべし

…詳細なる商況物…

…他後に…を要す）…○三箇月…拾五錢○一箇 前…他大祭祝日年

…を以て返戻す…て又廣告料の…被下度候

…山、元山津 金拾三錢 …くは加奈陀を 金六拾錢 金三拾錢 太平洋諸嶋、濠 金六拾五錢 金三拾五錢

七日以上 十錢五厘

●廣告料定價●●●● 時事新報の廣告料は都て定價の通り申受くる筈なれども取次人の内には往々定價以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取次人に對し本社廣告の取次を謝絕する事もあるべき筈に付豫め廣告依賴者諸君に公告す

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を揭ぐるもの寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依賴せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報社に送したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

時事新報

企業は亞弗利加洲に在り

今を距る僅か二十年前に出板したる世界の地圖を繙きて亞弗利加大洲の部を見れば埃及、摩羅哥、亞比西尼又は喜望峰殖民地の如き僅に海岸所々に散在する山川地名を記すのみにて其他は渺茫たる一面の大沙漠のみ埃及に著名なるナイル河あれども其源を記さず其水源に大湖あれども之を載せず内地は山もなく水もなく到底人間の居住すべき所にあらず恰も化翁の戯に造りたる世界中の一大空所、無用の長物にして固より其面積の廣狹の如き人類の得て窺ふべき所にあらずと信じて之を顧る者もなし年來西洋人の東洋に往來する者少なからず其往來する者は必ず亞弗利加の海岸に沿ふて航路を取りしと雖ども唯其南端に喜望峰、北端に亞歷山港あるを知るのみにて他に船舶を寄す可き良港あるを知らず随て何人も自から勇を鼓して内地を探撿せんとする者もなく開闢以來二十年前迄は造化の創始せし其儘に成り居たりしに彼のリーピングストン、スペーキ、スタンレー、ベーカルの如き諸名士が相尋で探撿に從事し或はナイル河を溯て水源を究め或はコンゴーに傍てニアンザーの大湖を發見し高山峻嶺深林幽谷を見出し赤道直下常に雪を戴くの山あり今日に至る迄全く人類の棲息す可らざる不毛の沙漠と思ひし者も却て沃野千里青草滿目禾黍秋肥其地味氣候は歐洲諸國に優るあるも劣るなきを發見してより爾來頓に世人の注意を喚發し歐洲諸國互に先を爭て殖民移住の業に着手するに至り或は特に土人の酋長と條約を結で土地を讓り受け或は兵力を以て之を征服し各境界を接して各版圖を定め其版圖の大なる者に至ては之を其本國に比して幾十倍の廣を領する者あり今日出板の地圖を以て之を前年の者に比すれば全く別天地にして恰も新に一新世界を此地球上に增加したるの感あるべし而して最初歐人が之を開くに當り必ずしも政府の力に依賴したるにもあらず又始めより兵力を用ひたるにもあらず或は豪氣勇敢の士人が一隊の人を引率して内地に蹈み込み或は有志者の結社を以て資金を用意し義兵を派遣する等の手段に依り櫛風沐雨蠻族に犯され猛獸に害せられ百難を排し萬苦に堪へ一步一步蠶食して漸く今日に至りしものにして眞に男兒の所業と云ふべし近年我國に於ても殖民移住の沙汰漸く世間に喧しく或は布哇の移住墨國の殖民等現に今實施する者もあり又は將さに着手せんとする者もありて後來の望決して空しからず我輩の敢て異存なき所なれ共布哇なり墨國なり又ニウカレドニアなり既に已に他國他人の版圖に屬する者にて主客の位置已に定まり何程我移住民を獎勵勸誘するも到底之れに依て我版圖を皇張するの望はあるべからず其實は所謂出稼なる者にして未來永遠今の支那人同樣、單に他國に雇はれ他人に使役さるゝのみにて決して自から國を開て自から主人となるの期あるべからず去れば結局我國の爲め我人民の爲めに謀れば是非とも海外に廣大なる版圖を開き年々歲々内に增加するの人口を他に移して以て其充積を散ずるより外の手段なかるべし人口增加の一事は全く未來の豫想に屬して目下の急と云ふにもあらざるが故に通俗の人情或は之に耳を傾くる者少なきやも知るべからずと雖も別に此に海外版圖を要する所以の理由あり即ち一は我國威を輝かす事、一は我兵氣を振起する事是なり抑も我開國以來此に三十年、此の三十年間の進步は實に非常にして郵便電信鐵道は申すに及ばず通商工業航海の諸件に至るまで唯目を驚かす計りの次第にして彼の西洋人が數百年の間に孜々辛ふじて達したる其距離を我日本の人は僅に二十年前後の短日月を以て進步し一瞬千里の活潑豪膽なるは迚も西洋人抔の企て及ぶ所にあらず前途の望決して空しからずと雖も其進步と云ひ文明と云ふも全く一國内の事にして未だ外に對して國光を輝かすの場合に至らず我國に渡來して實際の有樣を目擊する者か又は常に日本に注意する學者政治家其他商工業に從事する者の如きは我國情を見聞して日本決して慢るべからずとの感覺を生ずべけれども此類の人は唯千萬中の一二にして素より數ふるに足らず茫々たる宇宙人無數、世界中何れの邊に日本あるやをも知らざる者比々皆是なり其然る所以は何ぞや我國の實力足らざるが爲めにあらず唯その實力の未だ外部に現はれざるが爲めなれば苟も我力の屆く限りは四方八方に手を延し以て日本國小なりと雖も到底蠢爾として彈丸黑子の一嶋嶼に安んずる者にあらずとの事實を世人に知らしめざるべからず而して之を知らしむるの法は海外に版圖を有するに如くものなかるべし又彼の明治十年西南の役後今日に至るまで十有七年此間曾て我陸軍のすき鐵を用ひたることなし今日の如き泰平の打續く限りは何時の世如何なる時代に陸軍を實際に用ゆるの期あるべきや到底望なきことならん去れば其將帥の掛引に巧なる其兵卒の戰闘に勇なる決して他に耻づべき所なしと雖ども泰平無事の日久しきに亘り曾て彈丸矢石の現場に出合はざれば假令ひ平常の練習は怠らざるも到底物の實用は爲す可らず外邦は攻むべからず内亂は望むべからず此有樣にて永遠持續せば我兵氣の年一年に衰弱するは甚だ明白なる次第なり然るに今若し海外に版圖を所領し其領内に野蠻勇敢の土人ありて動もすれば我移住民を虐遇するとあらば我亦止を得ず兵力を用ひて之を征服せざるを得ず假令ひ其敵は無謀の蠻民なるも我兵氣振興の效に至ては相手なき演習に優ること萬々なるべし去れば我國の名の爲め又利益の爲めに謀り海外版圖の必要は多言を費さずして了解に易かる可し而して今日其版圖を何れに求めて果して之を得べきやと云ふに世界廣しと雖ども唯獨り前に述べたる一の亞弗利加洲あるのみ或は今日となりては英佛日伊の如き各有望の土地を分割して自家の版圖を定め最早他人の踏み込むべき餘地なきに似たれども其餘地なき所は僅かに海濱湖畔河岸に傍ふたる所のみに止まり彼のナイルの水源スーダン地方に至れば所在唯蠻民の散布するを見るのみにて未だ何れの版圖にも屬せざるもの甚だ多く恰も人の來るを待て天然無盡の寶富を開かんとする者に似たり現に今歐洲の諸大國は各其政府の力を用ひ又は私立結社の法に依り先を爭ふて之れが開拓に從事せざるはなき其狀は日々外國より達する所の電報に就て見るも尙は推測するに足るべし我國未だ富强ならずと雖も此天下萬國の競爭を袖手傍觀して默々に付し去り徒に他の富强を視て羨むべきにあらず僅に一隊の人を引率して彼岸に渡り勇を鼓し氣を奮ひ直に内地に浸入して地形を撰み氣候の適する所を相して此に其本據を構へ所在散布の蠻民を威服訓諭して之を我が隸屬となし時宜に依ては我陸軍の一隊をも派遣して其殖民を保護し恩威以て漸次に所領を擴めたらば四國九州は愚か我日本全國に幾倍するの邦土を占め旭日の旗章を亞弗利加の中央に飜へすこと又決して難からざるべし眞に勇士の事業にして日本男兒の名に對しても躊躇す可き場合にあらざる可し我輩は早晩此大業を企る者あるを信じて竊に望を屬する者なり

官報

○遞信省告示第七十五號

本月二十六日ヨリ薩摩國薩摩郡向田同國日置郡伊集院同國給黎郡知覽ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トシ左ノ通改稱ス

明治二十七年三月二十二日 遞信大臣伯爵 黑田淸隆

舊稱	改稱	舊稱	改稱
向田郵便局	向田郵便電信局	伊集院郵便局	伊集院郵便電信局
知覽郵便局	知覽郵便電信局		

○遞信省告示第七十六號

本月二十八日ヨリ肥後國天草郡町山口郵便局ヲ三等郵便電信局トシ町山口郵便電信局ト稱ス

明治二十七年三月二十二日 遞信大臣伯爵 黑田淸隆

雜報

○播但鐵道の近況及び將來 播但鐵道會社の工事は目下大に捗取りて姬路福崎間十五哩は來月上旬迄に線路敷設の落成を告ぐべく從て四月中に開業するの豫定にて福崎、生野間十三哩は本年九月迄に完成すべく姬路、飾磨間三哩も引續き開業し九月中に全通する筈なるが全線路中にて工事の困難なるは鐵橋三箇所隧道三箇所なれども是とて强て大工事と云ふ程にはあらずその他は勾配少く大抵平坦の地のみなれば敷設費用も割合に尠く一哩三萬圓の豫算通りにて充分落成する見込なりと只昨年夏頃横濱フレザー商會の手を經て米國ボールドウヰン會社に注文し置きたる汽關車四臺は遲くも來月中には到着することとなるが目下爲替相場大下落の際なれば是のみ豫算に超過すれども同社は地所買入に付豫算より凡そ五萬圓程利益したればこれにてその埋合を爲すに足る…は如何

沿道著名の地●●●● 同鐵道…强て大繁華の處もなけ…ば左の如し

飾磨 姬路 福崎 …

又名所舊蹟社寺は

廣峰山 惣社 本願寺…

等にして是等は同鐵道…ならんか

運輸貨物●●● 同鐵道は他…貨車收入に最も重きを…物の重なるものを擧ぐ…

石炭 鑛 米 牛

等にして就中生野銀山…なるものなるが同銀山…外にして是等は何れも…たるもの故運賃等も一…も鐵道開通後は僅に四…後にあらざれば確言す…右の豫定にて同社の利…に登載することゝなし…同銀山に要する運搬物…削位の見込なりと云へ…二圓内外の時價は削高…言することを能はざれど…するならんか何樣同社は…の内華族筋の持物も…て實物多からざる所以…てその幾分を買收さる…

延長 同鐵道を和田山迄…が愈よ認可を得るに至れ…を增額する豫定なり而…に連絡して舞鶴港に通ず…し愈よ成就する曉には…るなるべしとなり

○熟柿採收具發明 …植木職吉川某が此程發明…線を圓く曲げて之を木…を張りて網の中心を綾…處に掛けて引くものに…此程大日本農會に通知…

○善光寺の啓龕 近…の開帳は古來七年目毎に…の年度に比すれば汽車の…らず遠方よりの參詣人…像を拜せんには五圓を要…に擔當し衆徒に拜せし…合せ五錢づゝ百人、十錢…帳を乞ふと云ふ

○對芙蓉梅林 南…に前田綱次郎氏の梅園…き亂れ槪して若木なれど…手茶園の中には數十株の…たれども二十五日の日…池あり水淸鮮游魚數ふべ…に在る老梅の如きは奇古…